



# 女性防火クラブによる 地域防災力強化の取組

福岡県福岡市玄界島女性自衛消防隊防火クラブ

## 1 玄界島の特徴

玄界島は、玄界灘に面した福岡市西区に位置しており、博多港より定期船で約40分、面積1.14k㎡、周囲4.4km、人口約700人の離島です。

消防隊が到着するまで30分以上の時間を要することや、日中はほとんどの男性が漁に出ているという地域特性から、この間に災害等が発生した場合には、島に残る女性達を中心として対応しなければならないという実情があります。



玄界島

## 2 玄界島女性自衛消防隊防火クラブ

玄界島女性自衛消防隊防火クラブは、家庭からの火災発生を防止するため、火災予防の知識を習得するとともに、地域における連帯意識を強め、防火思想の高揚を図り、安全で快適な生活環境を築くことを目的に、昭和46年に発足し地域での自主防災活動を中心として活動しています。

## 3 福岡県西方沖地震を経験して

平成17年に発生した福岡県西方沖地震で、玄界島は住宅の半数が全壊するなど大変大きな被害を受けました。当時、男性のほとんどが漁に出ていましたが、女性防火クラブ員は、住民に公民館や小学校への避難を呼びかけたり、避難者の安否確認を行いました。この地震を契機として自主防災活動の重要性を再認識し、女性防火クラブとしての活動を更に活発化させ、「自分たちの地域は自分たちで守る」という強い信念と連帯意識のもと、心肺蘇生法やAEDなどの応急手当の習得や、多種多様な活動に取り組んでいます。

## 4 災害時初動体制の強化

災害時の初動体制の強化を図るため、隊長以下14名で、年間20回程度活動しています。主な活動内容は次のとおりです。

- 1 隊員が図上訓練を学び、自分たちで訓練想定を考え実践しています。
- 2 図上訓練の想定を元に地理・水利調査を行い、島内の消防設備の実情把握に努めています。
- 3 消防器具の設置状況から、女性防火クラブ独自の消防計画活動図を作成しています。
- 4 災害時初動体制を確立し消防活動計画図に盛り込むなど、火災発生時の対応強化を図っています。

- 5 地理・水利調査とともに高齢者世帯等を調査し防災マップを作成しています。
- 6 消防団との連携も視野に入れた応用の利く消防活動を実践しています。
- 7 消防活動だけでなく救急活動にも備え、ヘリコプター等と連携した訓練も行っています。



図上訓練



実践訓練

## 5 消防計画図の作成について

火災が発生した際に、迅速かつ的確に消火活動を実施するため、福岡市消防局と連携し消防計画図を作成しています。消防計画図には、火災が発生した際の初期対応の方法や消火栓・ホース格納箱の位置、消火範囲等が明記してあり、隊員は、日頃からこの計画図を活用して火災を想定した図上訓練、実践訓練、ホース格納箱の器具点検等を実施しています。

その他にも、災害が発生した際に避難が困難な高齢者世帯を把握し、災害時の避難誘導等の初動対応に役立てています。



玄界島 消防計画図



島内の小学生が作成したものです。玄界島では、福岡県西方沖地震を経験して、小学生も防災マップを作成するなど地域一体となって、災害に強い街づくりに取り組んでいます。

## 6 今後の展望

今後は、他の女性防火クラブなどさまざまな団体と交流し、防火クラブとして地域防災のためにできる新たな取組を模索していきます。また、島内の漁協、小中学校、保育園、福祉施設などと連携し、地域一体となった災害対応のネットワークを確立していきたいと考えています。

【問合せ先】 福岡市消防局予防課